

日本シベリア学会

第3回研究大会

2017年6月17日・18日

会場：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A（新潟駅南口直結）
共催：科学研究費・若手研究(A)「北東ユーラシアチュルク系諸言語の研究：
分岐と接触の歴史的過程の解明」

プログラム

6月17日（土）

- 12:30 受付開始
- 13:30-13:40 開会の挨拶（会長：高倉浩樹）
- 13:40-15:00 特別講演 宮岡伯人先生（北海道大学名誉教授・京都大学元教授）
「シベリア東端 アラスカ（ユピック）に発し 日本（語）に還る」
- 15:00-15:20 休憩
- 15:20-15:45 発表① 後藤正憲「サハにおける農民（フェルメル）経営」
- 15:50-16:15 発表② 加藤博文「中世温暖期と集団移動：オホーツク沿岸の地域
動態をグローバルヒストリーから捉え直す」
- 16:20-16:45 発表③ 麓慎一「郡司成忠とシベリア」
- 16:45-17:00 休憩
- 17:00-17:25 発表④ 近藤祉秋「ポトラッチからクリスマスへ：内陸アラスカ先
住民社会におけるロシア正教の受容」
- 17:30-17:55 発表⑤ 酒井徹「“rain-on-snow” が引き起こすレナ川の初夏洪水」
- 18:30- 懇親会（約2時間）

6月18日（日）

- 9:40-10:10 総会（司会：江畑冬生）
- 10:20-10:45 発表⑥ 吉田睦「氷下（こおりした）漁撈～寒冷環境における一生
業形態として～」
- 10:50-11:15 発表⑦ 大石侑香「スイニャ・ハンティの広域生業複合」
- 11:20-11:45 発表⑧ 飯島慈裕「中央ヤクーチャの雪氷・凍土に関わる映像紹介」
- 11:50-12:15 発表⑨ 井上岳彦「境域のランセット：統治技術としての種痘事業
について」
- 12:15-12:30 閉会の挨拶